

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	公園課長 田沼 滋哉	
都整-36	実施事業	公園運営事業	自治事務	主管課 公園課
			法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	都市公園等の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公園緑地等の適切な整備を図るため。
効果	公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

散在ガ池森林公園に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口	177,243人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	170	当初予算(千円)	168	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	170	一般財源	168	
	人員配置数	0.3	人員配置数	0.3	
事業経費運営	人件費(千円)	2,291	人件費(千円)	2,305	
	総事業費(千円)	2,461	総事業費(千円)	2,473	
	市民1人当りの経費(円)	14	市民1人当りの経費(円)	14	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 情報交換はもとより、専門知識を学ぶ良好な機会となる各協議会等主催の研修会等への参加については、予算的に多くの職員が参加することが困難な状況である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	公園緑地の整備・管理運営については、常に国・県等の動向を把握しておかなければならないことから、本事業はこれら動向調査に欠かすことのできない事業であるため、今後も現状どおり加盟を継続していくが、各協議会等へは負担金や研修会参加費用の減額について要望していきたい。	

